

令和5年度第1回中央区環境行動計画推進委員会【議事概要】

日 時 令和5年8月24日(木) 14:00~15:30

場 所 中央区立環境情報センター研修室

議題

(事前配布資料)

資料1-1 中央区環境行動計画2018の進捗評価(令和4年度)

資料1-2 中央区環境行動計画2018評価基準

資料1-3 中央区環境行動計画2018経年変化

資料2 中央区環境行動計画2023評価方法案

資料3 中央区環境行動計画2023 小学生版の活用・配布先

(当日配布資料)

- 1 中央区環境行動計画推進委員会委員名簿
- 2 中央区環境行動計画推進委員会座席表
- 3 中央区環境行動計画2023 小学生版冊子

(1) 中央区環境行動計画2018の令和4年度進捗評価について(報告)

●区

(議題の資料説明)

●委員

資料1-1 p.1最終行の「●実績は報告時点において直近の把握可能な数値で評価しています。」の記載位置に違和感があるため、2行目の後に移動してはどうか。また、3行目、「採点しています。」の前に、「4点満点で」を追記したほうがよい。

次に、p.2右上の平均点数の箇所に「R4年度比」とこのページにのみ記載があるが、理由は何か。特に理由がないのであれば、削除したほうがよい。

●区

他の意見も含めて記載を修正する。また、平均点数の箇所に関する記載については、p.2以降の表現を統一する。

●委員

指標番号の記載順番はどのような基準なのか。

●区

指標番号は中央区環境行動計画2018 本編での記載番号であるが、中央区環境行動計画2018 本編の記載順番ではなく、本委員会の委員に対するアンケートを踏まえた評価の重みづけで比重が高いものを抽出し、順番に並べている。

●委員

その順番になっているのはなぜか。以前取り決めがあったか。

●委員

例年の記載方法を踏襲している。全体の指標が参照できる記載方法になっているかどうかである。

●区

全体としては、資料1-3に記載している。

区民に公表するものは重みづけをしたもの（資料1-1）としている。

●委員

資料1-1がそのまま公表されるのか。

●区

そうである。

●委員

資料1-1 p.2の基本目標1で、指標番号3は原単位のことを言っていると認識するが、延床面積が増加していることとの関係性がわからないため、詳述すべきである。または効率の良い設備を導入しているのか。

●区

原単位の内容がわかるように記載を改める。

●委員

資料1-1 p.3の基本目標2で、指標番号1と3に※1が付いているが、指標番号2と4には※1を付けないで問題ないか。

●区

指標番号1と3のみ年度がずれているため、現状の記載で問題ない。

●委員

表記としてわかりづらい。注釈は年度がずれている旨の記載である。特に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた年度の話であり、閲覧する際は注意が必要である。

●委員

資料1-1 p.3の基本目標2で、指標番号4は回収量の絶対量を増やすという目標の理解でよいか。そもそも廃棄物の総量との関係がポイントなので、説明にその点を記載すべきである。

●区

注釈で記載している容器の種別について、合計値を記載している。

●委員

回収した容器の合計値だけではなく、ごみとして排出された絶対量が重要であり、それとの関係についての記載が必要ではないか。

●区

把握できるものが回収量に限られるので、このように書かざるを得ない。

●委員

記載の内容は、一般廃棄物処理基本計画から引用しているのか。

●区

そうである。

●委員

現状、把握できるデータに限りがあるが、全体としてよい方向に向かっているのかを見ていく努力が必要である。

●委員

容器包装廃棄物の回収量を増やすという項目は、元々、資源化率で記載していたが、計画開始後に資源化率から回収量の記載に訂正したのか。

●区

資源化率が算出できなかったため、回収量にした。

●委員

中央区環境行動計画2018では資源化率になっているが、資料1-1 p.3で回収量に変わったのはなぜか。

- 区

当時は資源化率を算出可能と認識していたと推測される。

- 委員

資料1-1 p.7の基本目標5で、指標番号4の「環境情報センター事業を推進する。(総来館者数を増やす)」は、新型コロナ感染症拡大の影響を受けて来館者数が減少したが、今後は元に戻る見込みか。時勢を踏まえ、YouTubeなどの配信に移行していく旨の記載のほうが、来館者数が戻り切らないことに対しても前向きな姿勢を示せるのではないか。

- 区

環境情報センターは拠点という位置づけもあるため、来館者数を増やしたいという意向は変わらない。新型コロナに対する不安感などで来場できない人向けのアプローチも必要なので、記載方法を見直したい。

(2) 中央区環境行動計画2023の評価方法について

- 区

(議題の資料説明)

- 委員

評価方法は何回か議論するのか。

- 区

本日の議論を基に修正し、第2回中央区環境行動計画推進委員会で決定する。

- 委員

資料2 p.6の基本目標1で、個別指標9の導入費助成件数がマイナスになるのは嫌な感じがする。目標年度までの累計件数にすると進捗率としてマイナスにならないのではないか。

- 区

中央区環境行動計画2018でもそうであったが、単年度集計の指標と累計値の指標が混在している。中央区環境行動計画2023で個別指標として設定したものを記載している都合上、指標の内容は変更が難しい。マイナスにならないように取組を進めるとともに、どのような対策が必要なのかも併せて説明したい。

●委員

個別指標は、中央区環境行動計画2023 本編のどこに記載しているか。

●区

中央区環境行動計画2023 本編 p.60 3-3に指標一覧がある。

●委員

個別指標9の目標値である123件はどのような意味か。1年間の数値か。

●区

最終年度1年間の目標値である。令和4年度の予算額を計上する際、例年より積み増しをしており、予算を消化できるだけの数値を基にした件数設定としている。

●委員

目標値は単年度か、最終目標の令和12年度の数値か。

●区

令和12年度単年度の数値である。

●委員

気になるのが、資料2 p.10の基本目標6で、個別指標3の中央エコアクト（家庭用）の参加世帯数の目標値が10,000世帯となっている。令和3年度から令和4年度の実績では818世帯から879世帯の増加だが、10,000世帯でよいのか。

●区

10,000世帯が目標値である。今までの中央エコアクトは紙ベースであったが、令和4年度に制度を改めて、ポイントが付与されるアプリを開発した。始まって数か月だが200件程度の申し込みがあった。以前の仕組みより増加率はよいが、まだまだ件数が少ないため、取組の改善を図りたい。

●委員

資料2 p.6の基本目標1で、個別指標1～3の基準値が「H25年度」となっており、一方で個別指標4の基準値は令和3年度の実績と認識するが、個別指標4の基準値を平成25年度に合わせなかった理由はあるか。

●区

個別指標1～3は国に合わせて平成25年度としている。ご指摘を踏まえて、個別指標4については確認したい。

●委員

個別指標 1 は50%の削減となっているが、個別指標 4 は令和 3 年度を基準とした場合、約33%の削減のため、区自体の取組が不十分であるように見えてしまうのではないかな。

●委員

記載の仕方に留意してほしい。個別指標 4 の22,379t-CO₂は令和 3 年度の数値で、中央区環境行動計画2023 本編では現状値となっているが、資料 2 では基準値となっている。現状値と基準値を読み替えてしまっていることから混乱が生じているのではないかな。

●区

現状値と基準値の記載の整合を含めて見直す。

●委員

しっかり区が取り組んでいることが見せられるよう、記載の工夫をお願いしたい。

●委員

今回の評価方法の見直しは、取組の進捗状況を体系的に管理できるような評価方法に改善することが目的にある。しかし、評価方法があって指標が決まることが通常の順序である。環境基準の達成値など指標の特性は区分できるよう整理しておいたほうがよい。中央区環境行動計画2023自体の変更は難しいので、無理やり感のないよう事務局内でも見直してほしい。

●委員

中央区環境行動計画2023の見せ方は中央区環境行動計画2018よりも区民に対して分かりやすいと理解している。その上で、各基本目標の進捗率は、毎年何%ずつ進むと良いかなどマイルストーンが必要ではないかな。対前年度比の評価をした際に、進捗状況が良いのかどうか参考となる判断基準があるとよい。

●委員

資料 2 p.10の基本目標 2 についてモニタリング指標があるが、基本目標 2 だけなのか。そうであれば個別指標の基本目標 2 の掲載箇所に移動させてもよいのではないかな。

●区

進捗率のマイルストーンについては意見を踏まえて検討する。

基本目標 2 については、気候変動が及ぼす影響の因果関係が国レベルでも分かって

おらず、モニタリング指標としている項目は区が把握できる情報を挙げている。気候変動が及ぼす影響が分かり次第変更を検討するが、現状では記載を分けている。

●委員

中央区の森も年度単位では進捗がないが、ある年度にまとまって増えることがある。気候変動のところだけではなく、日頃どういう取組を行っているか見えるように、他の分野についても方策を検討されたい。

●委員

基準値の話に戻るが、資料2 p.2では「※基準値は計画策定時に把握可能な直近年度である、令和3年度とします」となっており、p.3以降に掲載の「現状値」が「基準値」として取り扱われている。ただし、基準値に令和3年度実績を使わないものあり、それが基本目標1の個別指標1～3である。個別指標4は「現状値」が「基準値」として掲載されているため考え方が分かりづらい。また、基本目標1では国の目標値を採用しているところとしていないところがある。

個別指標4～10については令和3年度の実績値を基準値として使うということによいか。個別指標1～3については国の基準があるので、それをもとに修正を加えるということによいか。

●区

計画自体が令和5年度の開始であり、直近で把握できるのが令和3年度の実績値となる。そのため、基準値は原則令和3年度としている。個別指標1～3については区域施策編になるので目標値は平成25年度比となっている。個別指標4については記載方法を改善する。

●委員

関連計画の施策ではどうか。例えば、資料2 p.4の基本目標3で、令和3年に一般廃棄物処理基本計画が改定されたが、そちらでは基準年をどのような整理としているか。すべて令和3年度に合わせているか。

●区

一般廃棄物処理基本計画の目標値と合わせている。策定が令和3年で、その時の基準年は令和元年度とし、10年間の計画としている。

●委員

環境行動計画では令和元年度から令和3年度にずらしてもよいかの確認が必要であ

る。全て進捗率で評価する場合、当てはまらない項目も出てくる。

基本目標3の個別指標5では、すでに資源の拠点回収量となっている。

●委員

最終目標年度も目標値との比較を提示していないのはどのような理由か。目標値に対する実績値の評価ではないのか。

●区

どれだけ目標値に向かっているかを把握することが今回の評価方法の見直しの方向性である。

●委員

行動計画なので最終的な目標値・ゴールが重要である。それに向かってどう進んでいるかを評価する必要があるが、目標値の設定根拠が不明確である。

例えば、資料2 p.3基本目標2の個別指標2で、遮熱性舗装の整備面積は、まず区全体で整備可能な総面積が何㎡あり、現状どれくらいまで整備されていて、最終的にどこまで持っていくかが目標ではないか。ゴールに向かっての根拠を示す必要があり、目標に向かって直線的に行くものもあれば、予算措置に影響されるものもある。少なくとも目標をどう掲げるか、根拠は触れざるを得ないと思う。

●区

基本目標ごとに目指す姿と施策の方向性を示し、その達成に必要な個別指標を設けた。数値は区の関連計画の数値を採用している。数値の位置づけはそれぞれの計画において掲げている目指す姿に向かうための指標として設定している。

●区

遮熱性舗装の整備可能な総面積は出ている。各計画の年度のずれがある中で整合を図るよう目標値を設定していきたい。例えば、資料2 p.4の基本目標4で、個別指標5の緑被率は緑の基本計画にもとづいており、緑の基本計画では12%が目標値だが、その数値を環境行動計画の工期まで延長すると、資料中の数値である13.8%となる。

●委員

目標が達成された姿がどのようになっているか、区民がイメージしやすいように目標設定の根拠を明示したほうが分かりやすい。

●区

区民に喜んでもらう姿を見せることが重要と考えるので、他の計画とも併せながら、

分かりやすい記載の仕方を検討したい。

●委員

前回の中央区環境行動計画推進委員会の際に見える化をしたいという話があったが、それが資料2という認識でよいか。現状は、令和3年度～令和4年度で単年度になっているが、今後の進捗をどのように見える化をしていくかを知りたい。

●区

進捗度合いが中央区環境行動計画2018では評価しづらかったが、中央区環境行動計画2023数値目標を設定しているので、目標値に対して数量的に把握ができる。それによって進捗を把握したい。

●委員

単年度では表現できるが、毎年の積み重ねはどう表現するのか。

●区

進捗率の積み重ねで示すことを考えている。

●委員

意見をもとに事務局で検討されたい。

(3) 中央区環境行動計画2023小学生版について

●区

(議題の資料説明)

●委員

意識調査を小中学生で行ったが、配布は小学校のみで中学校に配布しない理由は何か。

●区

教育委員会と相談し、小学生は計画書等の文献資料等を通じて学習し、中学生は自ら考えて参加することが重要との認識になった。今年から「Team Carbon Zero」という中学生～社会人を対象とした取組を始めたので、そちらへの参加を促進しているが、中学生でも計画書等のデータを確認できるようにしている。

●委員

良い取組だが、表紙の計画名は副題にし、問いかけをタイトルにするとより良かったと考える。環境団体の活動の中で、会議に参加している連合町会長から二酸化炭素の削減がなぜ必要なのか？二酸化炭素がいっぱいあったほうが、植物がたくさん二酸化炭素を吸収できてよいのではないか？という意見が挙がり、一般の方へ浸透していないことを痛感した。二酸化炭素の削減がなぜ必要なのかという前提から入り、これを小学生だけでなく多くの方に見ていただくようにしていければよいと考える。

●区

子どもにとって中央区環境行動計画2023の内容は、概要版でも難しかったので、子ども向けを作成した。一般の方向けの普及啓発については小学生版を流用するか、新規に作成するかなど、別途検討したい。

次回委員会：令和6年1月23日（火）14時～ 中央区立環境情報センター研修室

以上